

# 活動報告

## 議会運営委員会

期日…8月26日～27日

場所…秋田県仙北市、能代市

### 委員会審議制の良否

#### ◎秋田県仙北市

仙北市の議会運営は、本市と異なり、議案を各常任委員会へ付託する委員会審議が中心だった。一般質問は、時間制限のほかに、質問回数を3回までと決

めており、質問回数は改正の方  
向で検討中だった。

#### ◎秋田県能代市

一般会計決算の審議について、9月定例会の最終日に提出し、決算特別委員会へ付託して継続  
審査とする。議決は、



能代市議会の議場を見学しました

12月定例会の冒頭に上程している。一般質問の時間は、答弁を含め1人1時間。ただし、答弁漏れなどの場合は30分まで延長を認めている。質問回数を3回までとしている。  
能代市議会議員政治倫理条例について、合併前の旧二ツ井町の倫理条例を尊重するとの考えから、平成19年6月に制定。政治倫理基準の遵守や、市民の審査請求権などが定められている。

## 総務常任委員会

期日…7月8日～9日

場所…宮城県登米市、気仙沼市

### 自主防災組織を推進

#### ◎宮城県登米市

自主防災組織の結成推進と、全市民参加による6・12総合防災訓練を実施。災害情報の伝達手段として、防災行政ラジオの普及を推進するほか、メール配信サービスも行ってお

を防災マップにまとめるなど、住民個々の防災意識の向上に取り組んでいる。  
また、市民活動支援センターを設置し、市民参加型まちづくりを積極的に推進していた。

り、有事や市政の情報伝達、消防団員非常招集などに活用していた。

また、平成17年4月に9町村が合併し、広大な面積を有するため、同年10月から市民バスの試験運行を開始。その後路線見直しを行い、平成19年4月から本格運行を開始している。

#### ◎宮城県気仙沼市

宮城県沖地震で多くの犠牲を出したため、将来の地震被害への備えとして、避難訓練や、自治会ごとに危険箇所



気仙沼市の状況を視察しました

# 委員会

## 教育民生常任委員会

期日…8月19日～20日  
場所…福島県三春町、福島市

### 共働きの育児を支援

#### ◎福島県三春町

平成18年にファミリーサポートセンターを民営で開設。登録会員が、共働きなどで育児の困難な家庭の子どもを自宅で預かる仕組みで、利用料は平日30分

当たり3000円、宿泊6000円。半額を町で助成している。また、平成17年、三春小学校がコミュニティスクール(学校運営協議会制度)の指定を東北で初めて受けた。保護者や地域住民などで組織する協議会が、学校運営などに意見を述べることで、同校では、合唱指導の得意な教員の配置を要望した。

#### ◎老人保健施設「にじのまち」(福島市)

診療所5カ所、グループホーム1カ所などとともに医療生協が福島市内に設置運営。他の老人保健施設同様、これまでの介護報酬改定のために大きな影響を受け、現在、この施設とグループホームは収支が赤字だった。



三春町の各施策の説明を受けました

## 産業建設常任委員会

期日…8月21日～22日  
場所…山形県新庄市、鶴岡市

### 資源循環と地産地消

#### ◎山形県新庄市

15年度から、バイオマス堆肥製造事業に取り組み、550世帯からの生ごみを活用。目標の全世帯約1万3000世帯には約3億円の新施設建設が必要で、予算的に整備が進んでいない。また、下水道汚泥等燃料化事業は、脱水汚泥を、木チップを主燃料として造粒乾燥させてペレット状の固形燃料にし、製紙工場の石炭ボイラーの補助燃料とするもので、実証試験の段階だった。

卵が100%、野菜が56・5%と高率である。また、全国でわずかに6市町村という農産物認証団体の資格を取得し、消費者の信頼確保と安心・安全の基礎を確立している。

#### ◎山形県鶴岡市

「持続可能な循環型農業」「安全安心な食糧生産」「都市との共存」を目標に、エコタウンプロジェクトに取り組んでいる。地産地消の推進では、米、大豆、肉



下水道汚泥の処理状況を見学しました

# 新生会

松浦博幸(代表)、三浦榮吉(副代表)、  
関義征、工藤忠義、関善次郎、田中榮司夫、  
田村孝、遠藤公雄、渡邊正、工藤剛

## 企業誘致や人材育成策探る

◎福島県伊達市  
新生会では、7月下旬に、協働によるまちづくりについて、先進地の行政施策を勉強するため、福島県伊達市と飯舘村、山形県西川町の3市町村を視察研修したので、その概要をお知らせします。

◎山形県西川町  
人口約1万9000人。協働のまちづくりを目指し、町民が行政の計画策定の段階から参画する基本的なことを、予算編成や実施計画に係るまで協議し、計画



伊達市庁舎のシルクホール前にて

◎福島県飯舘村  
伊達市の隣で人口約7000人。「若妻の翼事業で日本の農家・農村を変える」の意思で、孫や祖父もも参加する欧州視察を連続実施。「幸せは物や金ではない」と、個々の価値観を大切に、「女性が変われば男性も変わる。村も変わる」との強い連携のもと、村外との交流を盛んに実施している。

思を尊重した運営であったが、職員は、行政内での条例提案や事業計画のリーダーシップを担っている。協働のまちづくりに重要な役割を職員が先頭に立って果たしている、組織づくりの町であった。

ない新規事業は実施しないという、徹底した合意形成型である。「地域の発展なくして、町の発展はない」との住民と職員の理念が一致し、「地域支援職員派遣事業」を職員側から希望して制定し、職員の希望により派遣担当の地区に出掛けて住民と向き合い、相互に情報交換し、話し合い推進する体制である。住民の意

# 八起会

高橋守(代表)、勝又紘一、三浦正信、  
小笠原壽男、小野寺昭一、工藤直道

## 子育て支援財団の活動学ぶ

八起会では、6月9日から12日まで、石川県、富山県、東京都で会派研修を実施しました。

石川県の子育て支援財団では、県を挙げての子育て支援の現状について研修しました。続いて羽



羽咋市神子原地区の農家カフェ

市「神子原米」の生産、販売に取り組んだ経緯を研修し、続いて同市の人口減少で崩壊に直面する集落の再生対策で、「農家カフェ」営業で空き家を活用した成功例を視察研修しました。同様の問題を抱える本市の参考になると感じました。

富山市では、公共交通システム「ライトレール」の導入によって、高齢化対策の参考例を視察しましたが、暮らしやすい町づくり対策を研修しました。

観光ボランティアガイドが観光振興に果たす役割について、「立山黒部アルペ

ンルート」を視察しました。多様な観光資源を有する八幡平エリアが、来客者の満足度をより高めるためには、知識豊かな観光ガイドが必要と考えますが、そのための人材育成に力を注ぐべきです。

本県が東京銀座の歌舞伎座向かいで展開する「いわて銀河プラザ」は、県内の物産品の販売と宣伝を行っています。オープン以来10年を経過し、販売額は伸び続けています。安心安全な食品提供で消費者の信頼度が高く、今後の躍進が期待されているとの報告を受けました。今後も、安全性確保を第一に、物産品などの開発販売に取り組むことが期待されます。

この研修の詳細は、会派のホームページに掲載していますので、ご覧ください。  
(<http://www.hachimantai.com/hakikai/>)  
または、「八起会」で検索してください

## 議会の動き (7月~10月)

### ◎ 7月

- ▶ 18日 議会議員全員協議会
- ▶ 22日 全国市議会議長会第132回建設運輸委員会
- ▶ 23日 岩手県知事等に対する実行運動

### ◎ 8月

- ▶ 8日 兵庫県川西市議会議員視察来庁
- ▶ 9日 六市交歓野球大会
- ▶ 11日 盛岡北部行政事務組合臨時議会
- ▶ 13日 津志田長四郎氏死去(88歳・帷子) = 昭和52年から西根町議会議員を1期、昭和60年から2期
- ▶ 19~20日 教育民生常任委員会行政視察研修(福島県福島市、三春町)
- ▶ 21~22日 産業建設常任委員会行政視察研修(山形県新庄市、鶴岡市)
- ▶ 26~27日 議会運営委員会行政視察研修(秋田県大仙市、仙北市)
- ▶ 29日 議会議員全員協議会

### ◎ 9月

- ▶ 5日 議会運営委員会
- ▶ 9~26日 市議会第3回定例会
- ▶ 9日 議会広報特別委員会
- ▶ 12日 県知事に対する市町村要望
- ▶ 16日 総務常任委員会・教育民生常任委員会
- ▶ 18~24日 決算特別委員会

### ◎ 10月

- ▶ 1日 議会広報特別委員会
- ▶ 7日 議会広報特別委員会
- ▶ 8日 雫石東八幡平奥地産業開発道路促進協議会研修会
- ▶ 8~9日 全国市議会議長会基地協議会東北部会役員会・第17回定期総会

## 請願・発議案

# 2件を採択、1件を不採択

9月定例会では、継続審査としていた1件を含む請願6件を審査しました。その結果、2件を採択、1件を不採択、3件を継続審査としました。審査した請願・発議案は次のとおりです。



福島市の老人保健施設「にじのまち」を視察する教育民生常任委員の皆さん

◎介護職員の待遇改善について  
請願(請願者・県介護老人保健施設協会ほか1団体)

この請願は、介護職員の待遇改善を求めて提出されました。(採択。意見書を国へ提出)

◎義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合二分の一還元を求める請願(請願者・県教職員組合岩手支部)

この請願は、三分の一に削減された義務教育費国庫負担割合の還元などを求めて提出されました。(継続審査)

◎教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める請願(請願者・県教職員組合岩手支部)

この請願は、30人以下学級などの実現を求めて提出されました。(継続審査)

◎高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の撤回を求める請願(請願者・県保険医協会)

この請願は、問題の多い後期高齢者医療制度を撤回し、老人保健制度に戻すことを求めて提出されました。(事業発足から6カ月しか経過しておらず、制度見直しによる改善が望ましいとの意見が多く、賛成少数で不採択)

### 賛成討論(高橋悦郎議員)

この制度に反対の声は大きく広がっている。導入直後の医療制度にこれほど大規模な批判が噴出するのは極めて異例だ。間違った制

度を直ちにやめ、元の老人保健制度に戻すのは何の問題もない。議員各位の賛同をお願いし賛成討論とする。

◎放射能を海に流さないこととする法律、放射能海洋放出規制法(仮称)の法律制定を求める請願(請願者・重茂漁業協同組合ほか2団体)

この請願は、放射性廃液海洋放出の規制を求めて提出されました。(継続審査)

◎原油高騰への緊急対策についての請願(請願者・県生活協同組合連合会ほか11団体)

この請願は、福祉灯油の拡充などを求めて提出されました。(採択。意見書を国に提出)

## 事務局日記

市議会定例会の日程は、開会初日の3日前に開かれる議会運営委員会が決まります。そのため、議会だよりでは、残念ながら詳しい日程を事前にお知らせできません。そこで、希望者の皆さんに、定例会の日程が決まり次第ファクスでお知らせすることになりました。ファクス送信を希望される方は、議会事務局までご一報ください。(勇孝)